

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-122)、
廃棄物管理施設(97)、MOX燃料加工施設(2-79))」

2. 日時：令和5年11月22日(水) 10時00分～12時10分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審
査官、小野安全審査官、上出安全審査官、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他6名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年11月2
1日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・今後の進め方
- ・再処理施設及び廃棄物管理施設の構造設計等の説明の進め方の整理

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・今後の進め方については、12月に予定している審査会合での説明事項の
整理が的確に進むよう準備期間を確保したスケジュールを整理する。
- ・再処理施設及び廃棄物管理施設の構造設計等の説明の進め方の整理につ
いては、各条文における説明すべき項目の内容が分かるように整理すると
ともに、並行して進めている作業の関係性も踏まえてスケジュールを整理
する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年11月21日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	お願いしました。原子力規制庁のカミデです。それでは日本原燃とのヒアリングを行います。本日は、令和4年12月20日付け、
0:00:13	A、再処理事業所、
0:00:16	あと管理施設の設コウに、
0:00:18	また、
0:00:20	令和5年2月28日付けのMOX工場の建設購入の
0:00:26	について、昨日、11月21日にてスタートしよう。事実確認を行うものです。規制庁側の出席者ですけども、
0:00:36	会議室から、ヨコヤマ方がハバサキフジワラアライオノ、コサクカミデ、ウェブからオオハシです。それでは、元年度から出席者と、資料の紹介をお願いします。
0:00:52	はい。県連事務局の中浜です。
0:00:56	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:00	スケーリングチームより、ケツク、
0:01:03	ハセガワ、ノモト、
0:01:06	イシグロ、
0:01:07	タカヤイシハラとなります。
0:01:11	本日ご確認資料は二つございまして、まず今後の進め方、
0:01:17	その後、再処理施設及び廃棄物管理施設の説明グループの設定に関わる整理の考え方、以上2件となります。
0:01:25	それでこの進め方の方から説明よろしく願いいたします。
0:01:31	はい。人間ニシダでございます。それでは、11月21日
0:01:35	とさせていただきます。今後の進め方の資料の方から説明させていただきます。
0:01:43	今週、2ポツのところは審査会合での説明方針ですが、今週、審査会合をやっていただきまして、11月の案件。
0:01:51	の次ということで、12月の審査会合の案件、一部、先日の審査会合でのやりとりを踏まえて、項目を追加しているものがございますけども1ポツのところですね。
0:02:05	2ポツは前回から説明しても、
0:02:08	変わりません。本来であれば多分1月の審査会合の目にも書かなきゃいけないんですけど、今、まだ後ベースも含めて考えないといけないところからスタート。
0:02:20	次回には示させていただきたいと。
0:02:24	はい。3.1のところでございますが、これ直近にやらしていただいた、

0:02:31	ヒアリングの結果も踏まえて、今後の説明グループの設定の方についてはこの次の資料に、全体像を示させていただきましてそれをどうふうに進めていきます。
0:02:43	ルールを変えている展開を反映をさせていただいているということでございます。
0:02:49	また 2、1 ページ目の一番下ですね、
0:02:54	溢水、化学薬品の方は今週、来週か、厚生資料出して来週ヒアリングさせていただきますが竜巻とか竜巻以外の外部衝撃で言うと先週、
0:03:07	ヒアリングをさせていただいておりますので、その打ち返しをささないといけないと思っております。そのスケジュールというのも反映をさせていただいております。
0:03:16	また 2 ページ目の利点の二つ目、二つ目に、
0:03:22	一つ目ちょっと、
0:03:24	政府関係の話、SAの要求事項の整理等それを踏まえた、
0:03:29	DBとの紐づけであったり、SAの設計項目の整理と、
0:03:33	そういったものを、これもどういった形で進めていきたいかのサンプルみたいなものは、この次の資料でつけておりますが、スケジュール的にも進めていかないといけない部分を、今後の進め方、いろいろ考えてスケジュールを設定を、
0:03:48	させていただいているところでございます。
0:03:51	はい。あと、
0:03:54	2 号の関係のもの、これも審査会合でご指摘いただいた今後体系的に整理をしていくということで、本日この別添 2 でつけさせていただいているものプラス、
0:04:07	今後これを踏まえて共通に本部参考資料への反映と、
0:04:11	いうことトーマク説明グループ 1 の資料 4 ということの、
0:04:16	展開を進めていくということで考えております。
0:04:20	若干まだ資料 4 に落とし込む際に、考えなきゃいけないことがあると思っておりますそういうことはこのアトベ. 2 のところ、
0:04:29	ご説明をさせていただければと。
0:04:33	案件に対する関係のご説明でございます。
0:04:38	オカセキでございますがちょっと審査会合前のヒアリングでも、ちょっと我々の中でセキワタヒキー一番の特徴とらえた地盤構造 1 基本基盤モデルちょっとこの辺の言葉遣いはですね
0:04:53	我々もちょっと慎重に終わる中で、共通認識を持ちながらちょっと整理する必要があると思っておりますけれども、今ちょっとこの言葉遣いで、当面、この大井間整備をちょっとしているというところでございます。

0:05:08	まず、両括弧 1 ですけれども追加ボーリング調査によるデータ採取と獲られたデータの分析によって、敷地地盤の特徴ザイゼン地盤構造の分析整理をしていく。
0:05:19	いうところでございましてこれは耐震建物 08 の修正に、内容を入れていくということでこれまでのヒアリングの反映、それから、敷地の特徴された地盤構造の見通し等基本基盤、
0:05:32	少し盛り込む形で、本日資料提出を予定してございまして、来週ヒアリングの
0:05:41	お願いをされると。
0:05:44	それから、
0:05:45	追加調査取得データこれアノを徐々に取得してるんですけど、
0:05:50	そうですね次回の会合に向けまして、データを定義する日程の希望をこれ書かせていただいております。
0:05:58	まずSRSは減衰行政に関わるデータが削減ソウノDた。
0:06:03	及び分析結果の提出ですけれども、これを 12 月 6 日に差し上げて、これ 7 日の午後、冷や希望ということで書かせていただいております。
0:06:12	表層地盤の方の物性のたの分析がちょっとこれに乗っかってこないということになりますのでそれを、をですね、
0:06:22	11 日に提出、12 月のすいません 12 日のM冷や希望という形で、データ移行できたらというふうに考え
0:06:32	そのうち岩質は含めた是非ともデータは北井全般含めてこうでした。
0:06:40	両方に標準モデルの設定ですけれどもちょっと上かぶりますけれども、先生の考え方の骨格については自助、
0:06:52	よかったね。
0:06:56	あとの記載は、
0:07:11	行って、
0:07:13	実は事務局、
0:07:15	ちょっとすいません、12 月の審査会合時学に向けて、
0:07:20	もうちょっと抜本的に直さナカ御説明してるんですけど、現状の日付を直してる程度ということで、参事会全体の枠組みを、
0:07:29	先に進んだ形にし直していきたいと思ってます。はい。
0:07:34	アトベってニワベキ話。
0:07:38	スケジュールが一番。
0:07:45	程度ご説明した。
0:07:49	とかSAの設計項目。
0:07:52	ヒアリング資料提出。
0:07:55	決定をさせていただいてると。

0:07:58	あとは前回から、次、
0:08:02	2月の4日に、公式の面談を設置しての、
0:08:08	停留所は、
0:08:11	資料ケースが29日、4日でこれも午後で、もともと書いてましたが、午前中にスライドする。
0:08:21	というお話も聞きましたので、全体のスケジュール統制をしていきたいと思います。
0:08:26	あとこちらでスケジュールを書いて、大変恐縮でございます。ただ、確か7日の午後が、
0:08:31	駄目だと言われてたような気がして、
0:08:35	ここに今設定してしまうという、述べたベッドをちょっと調整しないといけなかなと。
0:08:48	12月の審査会合に、
0:08:51	資料というのを、
0:08:53	お願いをさせていただいてるところでございました。
0:08:58	IPTV以外の説明。
0:09:03	はい。
0:09:10	それ以外、
0:09:13	ちょっとその前に確認する、7日の午後駄目だっていうのは、何。
0:09:20	衛藤やってい入ってるのが、耐震なんだけど、誰がバッティングしてる。
0:09:26	いや、もともと単純にカミデさんも、これは連携訓練。
0:09:32	わかりました。
0:09:35	うちは、
0:09:40	はいじゃあ別ではない。
0:09:44	はい。
0:09:48	ちなみに、
0:09:50	今の話があったので、ちょっと耐震のつもりになっちゃいますけど、
0:09:55	6提出の7とか11提出の12とかって言うのって、
0:10:01	余りにもう、
0:10:03	という気はするんですけど、はい。
0:10:06	あれですか我々が書類を見るにあたってもどんな状況なのかは、最初に反発して沖田一井ですか。
0:10:14	ですねえ。
0:10:18	このデータのまとまりが、のタイミングと、そのあとその会合でのご説明のヒアリングのタイミングを見ていった時にちょっとこういうふうな、

0:10:30	タイミングちょっとご提出いかないちょっとデータご覧いただけるタイミングをちょっとお確保できないかなと思いつつ、これ入れていたところではございます。
0:10:40	ごめんなさい。
0:10:42	見るタイミングがないんだけど、なんでこんなヒアリングを設定してんのかって聞いているのに、見るタイミングを作るためって言われてもですね。はい。
0:10:52	ちょっと、
0:10:52	家田ですけど、抜けてるんですけども、右側の提出資料提出を1日でも前にできないかという、ちょっとチャレンジで、
0:11:00	うん速度データが欠けても、わしゃ、
0:11:08	亀井さんどんなイメージ。
0:11:13	物を見ないとわかんないって感じだよな。
0:11:16	会合で言われていた。
0:11:21	次回の会合説明事項で010203801。
0:11:27	②が、その分析、
0:11:30	経営分析している状況で③番。
0:11:34	市が今
0:11:37	資料の対応は見えないのでまずそこからちゃんと説明して欲しい。
0:11:43	6日出してナカ01の話ですね、データそのもの。
0:11:48	丸井ごめんなさいね、古作です。
0:11:52	今、上出が言った①②③-②って、個別のデータの云々ではなくて、全体を並べてみてっていうことのはずで、
0:12:02	だから、6と11にそれぞれ結果って書いてあるけど、これ、レッカーじゃないんです。
0:12:09	①のこと。
0:12:11	そうそうそうそうそう。
0:12:14	てするとじゃあ、この後202がくるのっていうとそういうわけでもないでしょ。
0:12:20	っていうので、丸一でしかないんですよっていうふうに思っていないんじゃないの原燃の作業員立場って思っちゃうんだけど。
0:12:30	①だけの分析結果って②だと思ってません。
0:12:35	そうですね。
0:12:39	どういう意図かという、このSR検層の結果であれば、このデータが全部出るんですけども、そのS検層の
0:12:50	データがこれですっていう出し方たっいいいますかどこ定義をしても、おそらく、ヒアリングの議論にならなくて、Sは件数を含めてこれ

0:12:59	は概況建設で全部そろった状態になるので、全部並べるとこうですっていうのをちょっとご提示するのがこの6日資料のタイミングかなというふうには思ってましたがちょっと工程の仕方ではありますけれども、
0:13:14	ただ全部並べてみるっていうところまではやるのかな。
0:13:17	と思っております。
0:13:18	とコサクですけど、
0:13:23	ろくうに出す資料での分析の中に、はい、表層は関係ないということですね、ここは表層は入ってないです。表層入ってないっていうか表層は関係ないのか。
0:13:34	影響しないのかってことです。下水に関しては影響しないんですはい。原水についてはじゃなくて。はい。
0:13:41	全体を分析しろと言ってるんだから、限定したら駄目なの。
0:13:45	だから減衰だけで、検討しては駄目だということで、そういうゴイトウだとするとそうですね。はい。全体にはもちろん絡みますから、
0:13:55	そうですね。だから全体をご提示するということになる等表層がそろってくるのがちょっとこの浴場のタイプになってしまうと。
0:14:02	いうことなんでちょっとタイミング的にですね、あのケースだけでもちょっと早いこと多いですから、結果とかじゃなくて、その断面でのものを、
0:14:13	①の断面のものでしかなくて、うん。
0:14:16	順に①を出していきつつ、②をどうしていくんですかっていう説明をしていただかないとですね、わからないですよ。
0:14:28	えっと、古作です。
0:14:30	ちょっとそこはちゃんと整理していただいて、
0:14:33	とりあえずデータの入れてる状況とかを説明したいっていうことであれば、資料提示日にでも、ヒアリングで聞くことは構わないんですけど、
0:14:45	多分それだけであればあんまりやる意味もないですよ。見ればわかる。
0:14:50	規制庁アオキなんですけども、
0:14:54	先日の会合でも言いました、その追加データの信憑性とかですね、そういった件も、次回の会合でというものになったんで、
0:15:03	そういった内容が今ここには含まれるのかどうか。
0:15:07	含めてですね、何となくこれ。
0:15:09	準備普通の会合の内容について、しっかり、
0:15:15	もう本当に、土肥の会合の通りいけるのかどうかっていうのを吉年でもう1回、
0:15:21	正しい
0:15:23	カジタ二なカノウな。

0:15:25	ものを厳しくなった方がいいからこれ何かできますできますって言って結局直接なんてできませんでしてみたいな状態、或いはやったとしても、データを並べるだけになってしまうような可能性なんですね。
0:15:37	早い段階で、実際どうなの。
0:15:42	ということをお示しになった方がいいと思います。はい。はい。はい。
0:15:45	承知いたしました。江藤。会合でいただきました。観点も含めた形で、このですね、
0:15:57	その方針たるジェネレーターが、この6日断面の提出に、極力織り込むし、織り込めな部分はここはこういうふうにする予定ですと。
0:16:09	いう骨格がわかるように、この6日目の資料はご提示するという形でやりたいと。
0:16:16	はい、山崎です。これも、そのパートベースです。我々としてはどちらかという耐震、例えば18ですね、お話をしたいというのと、あと先ほどもあった、
0:16:27	6日定率で7日日や何か、はい、そういったものを含めてですね本当に、
0:16:32	ずっと可能な予定というものを示します。
0:16:38	承知いたしました。はい。
0:16:41	そういう意味では今、いただきました観点も含めた検討を、
0:16:48	はい。
0:16:51	スケジュールでやりたいとは思っておりますけれども、ちょっとそれがどこまでやり切れるかというのも、
0:16:57	新藤ナカジョウを精査しながら順次ちょっとご相談したいと思います。
0:17:03	はい、町立アノミナミ議員。はい。はい、承知いたしました。日本原燃池田ですけどもおっしゃっていただいている通り、まだ1003があって、今日はここまで来てるのもう、
0:17:16	ほとんどの時間が大分対応の状況になっていて、本当に2回のヒアリング資料出してやるにしろ出してるのに、2週しかない残ってない時点でそこまでいかと行ったところも含めてちょっとリスケとか出すタイミングとか、もう一度担当の中で、
0:17:30	議論して、もう一度提案させて、
0:17:35	規制庁カミデですけど私の理解だと、12月6日11日って言ったら①ですね、①これだけじゃなくて他にもあるんだけど、これにないやつは、今日出てくる資料に、もう①が全部、
0:17:51	②は今このスケジュールに入ってるから、まず、
0:17:57	というところがまず、

0:18:00	③については、今日の資料にも考え方が書いてあるような話があったので、それが今、ここまで書かれてるんですけど、ある程度の内容があるんだったらあと
0:18:13	これに対しては、②だけやればっていう感じもあります。
0:18:17	それ次第かな。
0:18:20	あと耐震建物 08 の提示がないのでパワーポだけではなし。
0:18:26	するのかっていうと、
0:18:32	あ、
0:18:34	ノモトでございます。えっとですね。
0:18:38	大変タテ-08 のこの次のあれですね、ご提出の対応。
0:18:44	今ちょっと我々思っておりましたのは、データは提示。
0:18:50	に
0:18:51	次の会合までのタイミングでちょっと回収して、
0:18:57	ヒアリングっていうのはなかなか日程的に、
0:19:01	すみません、古作ですとか高価なものだったら会合でやるなんて言わないでください。そうですね。はい。やるって言ったんだったらしっかりやってください。で、少なくとも先ほど上出が言ったように、①②があつての丸さんだつて言ってるんですから。
0:19:18	①がまだなところで出してる。丸さんなんてただ仮で聞いているだけ。
0:19:25	であつて、
0:19:27	0102 が出てくる。
0:19:30	ちょっとここ、現状 0 にはっきりしませんけど仮に 21 位までに出てくるとすれば、
0:19:36	それと同時になりその後に③として、ちゃんと 08 として出していただく必要がある。
0:19:43	ということだと思いますから、
0:19:47	29 のヒアリングの反映っていうのをどこまで、
0:19:51	やれるかっていうのはあるのかもしれないですけど、
0:19:55	宣言されたんですからやっていただいて、11 条、
0:19:59	とかには、
0:20:01	対応されると、ということなんだと私は思ってます。
0:20:05	機能でございます。そうですねこの 10 のところに全部乗っていくようなところにならないと。
0:20:12	いけないという認識を持ちましたちょっと考えさせていただきます。
0:20:19	はい。
0:20:22	次の会合での説明する結論的なもの、要は分析状況というものが大事なんですけど、菅セキ川名井関の後は、この

0:20:32	いうところのイメージを、多分あってなさそうに合わせたと。
0:20:39	先ほど、来週、スズエですか。そこに、08 と今日一応対応方針という形で、今までの確認内容、
0:20:50	対応しました。
0:20:51	はい。続いて今日の晩ニワアノソウノババチャウと思うんですけど、もう1番。
0:21:00	書いて出してもらって月曜でも、仮でもいいですけどそこにパウポで小浦会合の次の多分結論が1枚2枚になる。
0:21:10	どうそのイメージちょっとつけてもらって、当然会合の指摘事項は、コメントリストに入るんでしょうからその対応の形としてちょっと見せてもらえると、
0:21:21	早め早めの認識を合わせられて、
0:21:25	はい。
0:21:26	わかりました。藤%ポイントの
0:21:31	安全ご提示できれば、おそらくイメージがあるんです。
0:21:34	ぐらい欲しい。そこまでいなくても骨子の形といいますか、こういう内容というのがわかるようなものというふうに理解いたします。
0:21:42	それを27、もしくは28、
0:21:45	7、89のヒアリングで5番から27まで調べるかどうか、18になるかもしれないけどちょっとそういうの何か議論できるような状態にしたいと思います。
0:21:55	はい。この表で出てくるのか、表と説明書きみたいな感じだったんですけど表は歯抜けでいいです。こんな感じで、フォーマットのこういう、
0:22:07	どうします。はい。
0:22:11	アノ。
0:22:12	オカ最新関係全部ここに何かありますか。院長。
0:22:21	よろしいですか。
0:22:26	私も、
0:22:28	ツジ8ですけど、
0:22:32	規制庁のアライですけど、
0:22:35	11月30日のヒアリング、
0:22:38	竜巻、その他大事。
0:22:46	溢水の方って、
0:22:48	先週のヒアリングを受けて、例えば親と子と孫とかの整理とかも、水平展開されたのが出てくるっていう理解でいいですかね。
0:22:56	はい、多田でございます。はい、おっしゃる通りです。はい。はい。
0:22:59	はい。

0:23:00	それで次の議題に関係するかなと思うんですけど、11月30日までに設計項目が整理されないと。
0:23:10	12月上旬に予定している要求の井清との紐づけができないので、会場には未完成。
0:23:19	ここの部分が未完成の状態になってしまうところを、何としても避けるって意味で今スケジュールを組んでると思うので、
0:23:28	やはり、もう溢水についてもですね、ちょっと竜巻とかゲート整理が進んでたと思うので、そういうこと。
0:23:36	同じような、質量で説明いただければ、乗ってくるのかなとは思っています。
0:23:44	うん。それで12月の会合って、
0:23:47	最初の説明グループの設定方針、
0:23:52	減って欲しいというか、設定っていうところと、あと
0:23:56	資料1から3どこまで、
0:23:58	準備できたかというところをぜひ説明いただくと。
0:24:03	ていて、
0:24:04	状況って書いてあるので、いずれにしても何出すっていうことは変わらないと思いますので、
0:24:12	ちょっと引き続き、この要求事項、
0:24:16	これは注意していただかないと最後の方から、全体としては動いていかないと。
0:24:26	はい。有名ニシダでございます。ちょっとかなりきついな状態だというのはおっしゃっていただいたような銀行を考え、
0:24:33	シンボところを踏まえ、
0:24:35	これに、これも資料自体はなるべくこの指定医も早め早めに出せるように、
0:24:42	部分の作業を進めながら、
0:24:44	ヒアリング
0:24:46	Bだと思います。はい。
0:24:49	一応
0:24:52	次の資料にもありましたが、溢水とか化学薬品の漏えいの方は、前回設計項目の整理を
0:25:00	クドウされるクローズしてから、つなげるという話と、とはいえ、グループ2の中で全体がカバーできるんで、こないだ出した火災みたいな、
0:25:10	基本設計方針の項目を見ながら大体こういう説明すべき項目があるよねっていう洗い出しをしていくっていうのを、並行してやっては、

0:25:18	総額のセキ説明セキ項目に抜け漏れがないよっていうところは最低限クリアすることで今考えておりました。はい。
0:25:26	それについては次の議題。
0:25:29	はい。
0:25:36	けど、
0:25:37	殊、24日に提出される資料というのは、
0:25:47	整備の臼井勝谷。
0:25:59	はい。
0:26:02	二本木の高でございます。はい。
0:26:08	まず、結論から言うと私なりにすべてが反映させていただいてやや提出をさせていただこうというふうを考えております。
0:26:16	今すいません。
0:26:18	検討事項でした。申し訳ない
0:26:20	んとおっしゃっていただいた医者の方から説明があった設計項目の整備と、今、24日に提出しているところの整理というのは、
0:26:29	整合というところということで、規制庁イシタの次の日、論点やると言っていた12条13条の、
0:26:38	で、設計グループ1、
0:26:41	説明グループ1で、
0:26:43	最低限、
0:26:47	はい。
0:26:49	衛藤。
0:26:51	12月の対応までに済ませなきゃいけないっていう。
0:26:54	やっぱり、
0:26:56	ヒアリングを出展される。
0:26:59	それに対応したような、
0:27:02	作りになってますでしょ。
0:27:04	そういった、
0:27:05	生活、
0:27:11	有名なウタダでございます。グループ1の設計項目の整理がグループ1でご説明する内容というところ。
0:27:25	申し訳ないですけど、グループ1で説明するものと、
0:27:29	これ。
0:27:32	整理させていただいているという
0:27:35	ところございまして、グループ1に関係するものについてはそこは、
0:27:41	多分、それを重点的に

0:27:44	と合わせて、ローリングにさしていただくということは念頭に置いてやっている。
0:27:52	その辺が少しわかるようになってくるとヒアリングで、
0:27:56	どこまで確認して、しっかり確認して、あと、
0:27:59	こっから先は次回だけど今のうちにコメント出していきますみたいなど。
0:28:03	ヒアリング進め方にもありました。
0:28:06	はい。できます。
0:28:08	もう少しわかるようになって、
0:28:25	Aなんですけど、
0:28:27	今日、
0:28:28	岸さん。
0:28:30	今日のヒアリングの資料、
0:28:34	次の分の方だと、今回フルタの方は 83。
0:28:43	12 月 1 日にあって、何か遅れてる。すいません。
0:28:51	なるほど。
0:28:51	はい。スケジュールにアノても、
0:28:56	知事、
0:28:59	スケジュール的に厳しいよねって話があって、もうすでにこれを取ってきますけど大丈夫ですか。
0:29:06	はい、いい人でした。
0:29:08	はい。
0:29:10	も、
0:29:13	説明グループの設定を大きく三つのグループに分けて、一番左は基本設計方針を基軸にして、大枠はずれがないようにやっていこうという、
0:29:22	それ自体は、
0:29:26	そんなに時間かからずに答えが出たんですけど、若干まだちょっと設計やってると調整をしないといけないものがあったんで、一部 12 月 1 日に遅れてるものはあります。そこは 12 月 1 日には間に合う。
0:29:39	枠はできてますんで、あとは、確認するだけなので、
0:29:42	12 月 1 日と言わずもっと前にもしますけど、その辺の感覚に作業、
0:29:48	はい。
0:29:52	うん。
0:30:12	アノの方のスケジュールで、設定関係の部分が、前回から変わってきてるっていうのは次の資料で、限られてるフローに則してきちんと組み替えた方がいいんです。はい。人間。
0:30:23	はい。書記。
0:30:29	大岡です。

0:30:31	西出Head。
0:30:33	技術の会合を今後説明されるということでしたので、結構、
0:30:38	わかります。
0:30:42	こんなメニューを考えられてる。
0:30:47	西原でございます 1 月は、目標としての説明、グループ 2 を、
0:30:54	検討したいなと思ってるんですけど、これはですね、私が思ってる 1 月にかけるんだったら、このぐらいに資料が出てないと駄目だよなっていう感覚から今連れてきて、
0:31:08	僕は、
0:31:10	になると、今お出ししているスケジュールに少なくとも説明グループの資料を出して、ヒアリングが入ってないと、ほぼ、
0:31:18	多分無理だろうなと思いつつ、
0:31:23	何でしょう。話聞かれない程度にケツを叩いているところです。はい。
0:31:28	はい。
0:31:28	規制庁、笠井関連所がサイトウダイウですね。はい。それを再処理のグループ 1 度、ある程度足並みそろえてやって、はい、西田でございますが、最初は特にリンケージあるといえど、とはいえパーツが、
0:31:45	全体というよりは、本当のパーツなので、そのまま整合をとりながらもその部分の説明になると思いますけど、
0:31:53	あとは今説明は説明グループ 1 でやったような構造設計とか説明あのやり方での投資をして、整理をしていこうと思いつつやっていますが、はい。
0:32:02	わかりました。あと会議の時にちょっと最後の方に、
0:32:08	伺ったその共通の最初に長野、
0:32:12	ドラフト版として、グループ 1 を 11 月末で、多分グループ溢水量。
0:32:18	出されるようなことをちょっと文書、
0:32:21	ですが、
0:32:22	まず、その辺のその完成形を出される。
0:32:27	ビーガンだけ整理したものとか、
0:32:30	状況をお願いして、
0:32:32	ニンダでございます。また
0:32:35	グループ 1 は前回の進め方でお話しましたDSAの整理がまだ今平行して進んでいるこの状況で、
0:32:45	全部をパッケージ化してするのはなかなか難しいだろうという気はします。そういう意味では、AとDを先行的にまとめていってお出しをしていく、SAの要素も当然いえるものは言えますけど、あとは

0:32:57	リンケージも含めた綺麗な形には多分ならなくなりづらい気はしてて、そこは段階的にやらしていただく方向で、タダノモダときにはどこまでができててどこができてないのかは明示した上で出そうというのは、
0:33:13	はい。規制庁勝です。溢水が同じような感じで考えられて、
0:33:20	ゲームハセガワです。もうちょっとといいますと、グループ1の方はですね、11月15日付のガイド、
0:33:29	あとですね、ヒアリングの結果ですかね、ちょっとそこまでを反映して、今出そうとしています。
0:33:36	ちょっと溢水の方はですね、ターゲットを、
0:33:40	ちょっと12月末なのか、ちょっと1月入ってからにするのかっていうのはですね、ちょっとグループ1のできも見ながら、ちょっともう1回、きっちりスケジュールリングを立てたいなど。
0:33:52	いうふうにちょっと思ってます。
0:33:54	ちょっとまた改めて、提出の日は調整させていただければなというふうに思ってます。はい、わかりました。それと石原さんおっしゃっていただいた通り、そこが出てきてどこまでできてないから明確になった。はい。
0:34:08	返している。やっぱりずっと資料、
0:34:13	いたしますと、買い物で宣言されたときに、
0:34:17	オオニシタナハシを出すことが目的になっちゃうことが多くて
0:34:21	今までそれで、
0:34:22	品質問題に繋がったりもしてきたので、
0:34:25	やっぱりそこは少し配慮していただいて、
0:34:29	こちらからすごいたくさんのお話を聞いて結果をくれるみたいな他の問題が生じるみたいなことはないように配慮していただければと。
0:34:37	よろしく願いますはい、長谷川です。ありがとうございます承知いたしました。
0:34:42	そんな時にできていないことが我々の指摘とかぶっていれば問題はないと思ってるそうですね。ですけど、
0:34:53	我々の指摘が単独でぽつとで、
0:34:56	作業まで発生するっていうのは、手戻りになってしまう。
0:34:59	ちょっとそこら辺の認識が合ってるかどうかっていうと、
0:35:02	当日ページぐらいには確認したいなと思います。はい、ありがとうございます。荘司です。
0:35:11	規制庁迫ですけど。
0:35:16	SAの反映は、
0:35:20	間に合わないけど、
0:35:22	とりあえずDBだけでも、

0:35:25	どんな状況かと言う、示していくということは、
0:35:30	これまでも話をしていたので、それはそれでもいいのですが、
0:35:40	いつ反映するの。
0:35:42	いうことは、できてないっていうのを明示するとともに、
0:35:47	どうしていくのかっていうのは示していただきたい。
0:35:53	で、その関係からはですね、この資料だと5ページ6ページ。
0:36:00	2、
0:36:02	JT、
0:36:06	反映していくかというのが書いて、
0:36:08	あって、
0:36:10	もう一つの資料、
0:36:12	あと、6ページに似たような、
0:36:16	がある。
0:36:18	この三つが似たようで違ってんですよ。
0:36:22	共通10人どうイクノか違ってると。
0:36:27	これは何で、
0:36:29	はい、乳井でございます。はい。先ほど私が今のステージを踏まえて、抜本的に直さなきゃいけないと。
0:36:38	というのが、別紙1ですかね、添1-5ページ6ページ。
0:36:44	6ページは若干だから、
0:36:47	現状のステータスを考えて、前回から直しましたものの、
0:36:51	共通のエリアの紐づけてっていうのを、一つは、説明グループの設定という観点と、もうちょっと共通にそのものの資料に資料3への展開、
0:37:03	いうことをちゃんと仕分けをしてかなあかった結果、何をやってんだかよくわからなくなってるんだという認識を持ってまして、その認識を持っている以上、相談をせよというところなんですけどそこができてないっていうのが、
0:37:15	先ほど申し上げた、直さなきゃなっていうところは、そういう認識だと思ってます。一方
0:37:21	この後の資料も説明グループの設定みたいなものに特化してフローを書いてしまってるので、資料そのものへの反映っていうのが観点が若干抜けていて、何、全体の枠がよくわからなくなってるってとこだと思う。
0:37:35	はい。
0:37:38	いずれも、はい。資料をやる時にその作業の全体像を示さないといけないよねっていうのは、うまく突っ張って見ながら、
0:37:49	やってもらってはいるものの、全体、その作業のゴールが狭い。
0:37:56	ところと、全体を見なきゃいけないところがうまく、

0:38:00	水がとれてないところからお願いします。はい。
0:38:08	コサクです。
0:38:11	何。
0:38:14	何だかなという感じでしかないんですけど。
0:38:17	えっとですねまず 6 ペイジーが一とても問題があって、
0:38:23	共通 12 っていうのが、今言われたようにグループの設定でしかないという、
0:38:30	こと。
0:38:32	であっても、
0:38:34	この点線ですぐわけがなくて済むわけがないから点線にしてるんですよきつと。
0:38:41	最終的にはひもづけ整理を踏まえて精査したもので、入れていくということで話をしていたはずで、その線が入ってないと。
0:38:51	というのがとても問題だし、
0:38:54	それを踏まえて、共通条例の作成は紐づけを踏まえたものにしなきゃいけないのでそれも入ってないと。
0:39:02	ということで、それを、せっかくそれがわかるように 5 ページまとめたのに、何でここでまた忘れるんだっていうことかなと思います。
0:39:15	もう一方の資料の 6 ページ行く等、
0:39:20	それも多分先ほどその当面 DB 潜航と、
0:39:25	いう意識が強過ぎて、
0:39:29	本来あるべき姿と、そこにたどり着くためのステップっていうのが見えなくなっている。
0:39:36	ようにも、
0:39:37	思います。
0:39:40	ここで言うと、36 条の整理すべき項目が説明すべき項目の整理と、
0:39:49	というのが、共通 12 本分別添ということで、グループ設定の見直しに入っている。
0:39:57	いうのもこれも先ほど言ったように紐付けがあってブラッシュアップするんだよねと。
0:40:01	いうことがあってのもの。
0:40:04	であってそうすると右側の欄で紐づけ整理云々と言っていたことが結局反映されてるんです。
0:40:11	されないといけないんですよと。
0:40:14	ということだと思うんですけど何でこう独立したまんまになってる。
0:40:20	うん。

0:40:21	はい。そこはそうですねやらなきゃいけないことは認識をして作業をしてもらってるんですけど、そこがうまく
0:40:30	濃度中で示せてないというのが悪い。
0:40:35	8 ページとかですね 9 ページとかで売買セガワウツミして費用で、※1※2 と言ってたものが、基本的方針のどれとDBとひもづけ。
0:40:46	が、それをBでやって、今の選定についての基本的な方針等々にどういう設計がSAとしてコラボするのかみたいのところまで、落とせやろうとしてるところもあるので、それが、
0:40:57	結局共通順位にリンクするんだよねっていうところ認識して多分全体のフローの整理をしないといけないと思ってますんで、
0:41:04	そういうところを意識をして作業しながらもフローズをうまく示せないってところは、頭がどっかで切り替わってないんだらうなという気はしてます。はい。
0:41:15	はい。
0:41:18	8 コサクです。なんで今言っているかというと、
0:41:21	そのプロセスがはっきりしてないからこの日付もですね。
0:41:25	どうスキダ目ばいいのかっていうのがわからないんですよ。
0:41:31	次の方の資料の 6 ページで話をおっしゃった方がいいかなと思うんですけど。
0:41:39	と左側、当面ね、
0:41:42	とりあえず大枠Dだけでもう話をしていって、エコ、
0:41:48	基礎を固めましょう。
0:41:50	いうことだと思うので、当面として 1 月、12 月 1 日に資料を提示してヒアリングをしますと。
0:41:58	いうのが、
0:42:00	あるのは理解をします。
0:42:03	とりあえずなんだから、これ書くのもっと上ですよ。
0:42:09	その上で、SAの方を、
0:42:14	そのDBでの検討も踏まえながら、費用のるように、整理をしていきましょうという活動は少し、
0:42:22	ワntenポ遅れるので 8 日提出は本当に適切かどうかはちょっと疑問ではありますけど、
0:42:31	その次の、
0:42:33	提出ヒアリングと。
0:42:35	いうことになると、
0:42:37	そうすると、その時に合わせて反映するのか。
0:42:41	その議論を踏まえて反映するのかと。

0:42:44	いうことが必要で、
0:42:48	どうするのかにより、刻み幅が決まるんです。
0:42:54	ていうのは、早々に整理をしてください。
0:42:59	はい。うん。
0:43:01	はい。先ほど 11 月末に出してそのあと、
0:43:05	私、この右側の
0:43:08	内容と人数の反映していくと。
0:43:11	いうことで、
0:43:13	はい。全体。
0:43:15	スケジュール感というか、
0:43:19	はい、古作です。よろしくお願ひしますそれですね。
0:43:23	また元に戻っちゃいますけど、当面、DBの方でいうものは、
0:43:29	金曜日に水が出てってというようなことで、先ほども確認ありましたけど、
0:43:35	井清は少しスタートが悪くてですね、まだちゃんとなるかどうかが見通しが立たない。
0:43:44	我々がちょっと大丈夫かと思っているという状況なんですけど、
0:43:51	それが見通し立てるようにできてないとそもそも
0:44:00	図の通りいきませんよと。
0:44:03	ということなので、それは資料出てきたところで、来週見極めたい。
0:44:09	と思いますが、
0:44:13	当そこがある程度のものだとすると、
0:44:17	そんなにその時間をかけて、
0:44:21	何、何かやんなきゃいけないってことですね。
0:44:24	説明グループの見直して、
0:44:27	作業がないので、
0:44:29	そろそろ本直せばいいだけだから、
0:44:33	そんなに 1 週間だなんだとかっていう、刻みを取る必要はないと思うんですね。
0:44:40	その点では先ほど 8 日というのかという意味でしたけど、それぞれナカ 1 日とかでも、
0:44:47	治療範囲も含めてですね。
0:44:49	はい。
0:44:50	提出ヒアリング反映、ヒアリング。
0:44:53	ていうのを刻んでいくってことはできるんじゃないのかなと。
0:44:57	いうふうに思いますので、
0:45:01	先ほどのステップどうしていくのかとあわせて検討いただければと思います。

0:45:06	はい。
0:45:07	ありがとうございます。はい。
0:45:09	なるほど。
0:45:12	が固まれば、あとは、この文言同士どう書きがいいのかみたいな、
0:45:18	多分、
0:45:20	踏まえて、この後、
0:45:23	来週、
0:45:24	今日ご説明した後、これで作業を進めていくという前提だとどういうタイミングで、
0:45:30	資料説明と、
0:45:32	ヒアリング、徹底していくか、検討して、
0:45:35	はい。
0:45:35	はい。
0:45:37	はい。補足です。よろしくお願いします。その入口が今日の次の資料でもあると思うので、その点もこちらのメンバーも認識をしてるでしょうから、その観点で話をしたいと。
0:45:50	進め方、私は、
0:45:53	進め方の方としては、
0:46:01	思います。
0:46:04	2、いや、もう、
0:46:18	なぜ必要かも。
0:46:27	二つの、
0:46:35	はい。
0:46:39	うん。
0:46:48	はい。
0:46:52	あ、すいません規制庁オオハシですけども。
0:46:55	1点確認したいんですけども、
0:46:59	29日に濃縮の申請書の本文の
0:47:05	記載整理の資料が出てくるかと思えますけれども先日の面談で一応その辺っていうのは、塘日下と調整をしてくださいという話があったと思うんですけどもその辺の調整状況っていかがでしょうか。はい。
0:47:18	ありがとうございます。前回濃縮の面談が終わった後ですね、
0:47:23	濃縮のチーム呉と話をして、第1回の設工認のときに最初に僕と合わせて、共通項目と個別項目の書き分けみたいな資料を作ってヒアリング何とか、

0:47:35	させていただいたものがあれをせ、どういう考え方だっという説明をさせていただいてます。それを踏まえて、濃縮側で、業績方針の整理をしたものを、
0:47:45	確か今日か。
0:47:48	そうかな。ドラフトとしてボックスが2ページをしてくれるので、
0:47:54	ヤスダを使って我々でチェックをして、その仕分けにお返しをするという形で、29日の提出に行けるかなと。
0:48:05	はい。
0:48:08	はいわかりましたはい。よろしく。
0:48:14	とコサクです。
0:48:16	今のはなCは、
0:48:19	どういう方向なのかなんですけど、
0:48:22	濃縮の面談の時にMOXも見ながら話しましたけど、
0:48:28	Xももうちょっと、
0:48:30	改良してもいいんじゃないっていうような気もしていたんですが、もうそんなそこは、
0:48:38	必要ないっていうこと。はい。乳井ニシウラでございます。おっしゃっていただいたように濃縮の家の人と話をしながら、じゃあこうしていこうかという議論をしていくと。
0:48:49	例えば、共通に何らか数細かい数字的なものを書いている部分例えば委員会で一番当たりですね、何か個別の協定がうまく書けてないところがあるかなっていうところも若干あって、
0:49:02	それは我々がまだ出していないので第2回に今回出すやつが、若干まだ修正をしなければいけないかなって思ってるところはフィードバック受けようかなと思います。はい。
0:49:13	第1回のところもそういう意味で、もう1回見てみて、修正が必要であれば今回の時に、直すなりなんていうのを考えたいとは思ってます。はい。
0:49:23	はい。補足です。わかりました。
0:49:26	第1回認可済みの部分とかは記載の適正化っていうことでいいと思うので、
0:49:34	適宜相談いただければ、濃縮の面談の場で困らないので、
0:49:39	話をさせていただければと思います。
0:49:42	全般にわあ、最初にボックスで話をしている通りですね、共通で骨格を示した上で具体は個別項目
0:49:55	いうゴトウの思想なんだろうなと思って、

0:49:59	濃縮の人たちは何か、どっちに書くんだったというだけだったので、骨格もないのに、個別なので個別ですみたくにしちゃっていた部分はやっぱり骨格は置きましょうねと。
0:50:12	いう話をしてて、ボックスが参考になるよという話をしたと。
0:50:17	いうところ。
0:50:19	です。何か再処理を参考にして、
0:50:22	いたので、せっかく再処理を踏まえつつ、同じ加工事業であるMOXがあるのに何をやってるのかなと思ったんですけど。
0:50:32	やはり最初の箱で情報も違ったり、物も違うということがあるので、一番はカガワ粉体活動。
0:50:40	いう違いですけど、それに応じて対応が違うので、
0:50:44	そこら辺を踏まえながら、
0:50:47	整理をしていけばいいのかなと思います。で、
0:50:53	その観点からは、
0:50:55	どうしても加工事業の方は個別で書きたがるというか、
0:51:02	様式がもうそういう形になっちゃったので、それがしみついちやっついて、
0:51:08	本来どういうもの。
0:51:10	コンセプトは何だっけというこ等を整理をするという思想が少しされなかった。
0:51:16	いうことだと思いますので、
0:51:19	今回、整理ができればいいかなと。
0:51:23	思っで。
0:51:25	今、
0:51:26	そういうふうに見ると、MOXは少し載つけたなというところがあったので、そこら辺をまた今後、話ができればと思います。
0:51:41	はい。
0:51:42	はい。そうです。
0:51:45	共通項目、目標倍の共通項目と言いながら、これって大分個別に寄ってるような店舗が一部やっぱあったので、そこはコンセプトをちゃんと変えていく。
0:51:55	部隊みたいな仕分けを、
0:51:58	はい。そのページ、
0:52:01	はい。コサクちょっと脱線しちゃって申し訳ないですけど、その修正のポイント、主語の書き方なんだと思うんですけど、具体名書いちゃうとそれは個別だよなってことになっちゃうんだけど。
0:52:13	その主語の部分を定性的にこういうものはない。

0:52:17	何に対しての、種類の表現とすれば、その種類が非中身が一つであっても、共通の更新になると、と。
0:52:27	時にはその空襲号の場合もあるじゃないですか。
0:52:30	今後の設計としてそういうのが入り得るから、枠として置いておきたいという9次、実は、今回は空中5なんだけど置いときたいという方針もあるので、
0:52:40	そういうのも含めてあまりアノ部隊ではなくてその枠っていう表現をうまく整理をしていくと、主語ナガエ変えるだけ。
0:52:49	共通はよくて、それと同じ内容の主語を具体的にしたものが個別に入ると。
0:52:57	いうことだけでも十分体系とれるんでは、さほど労力なく、
0:53:02	対応できると思いますから、お願いします。
0:53:10	はい。
0:53:14	うれしい。はい。
0:53:19	はい。
0:53:28	ページが7ページなんですかね。
0:53:32	前回お話をさせていただいて、
0:53:39	ので、あとは、
0:53:41	整理を進めようと思ってます。例えば10ページで、運営委員会、
0:53:53	12ページの評価パターンのところが、
0:53:58	前回お話をさせていただいて(1)(2)(3)ということで、暴力的な評価をするものと、機能製造に関する評価を、
0:54:06	あと、
0:54:07	ちょっとみたいなものです。
0:54:09	ということで、ぜひオオキ、
0:54:11	やっていこうということでは言いませんよ。
0:54:15	整理を進めていく中で、やっぱりサッカーの
0:54:19	あれですね、13ページ前回お話しした漏えい液と受け皿の件は、説明グループ1と3で分かれてくるので、最終的にまとまったところへ説明しましょうっていう設定の
0:54:32	仕方が一つできるかなと思いながら後、
0:54:35	どちらかというと今、どうしようかっていうか整理していかなきゃなって思ってるが、22ページとかの表の中で今、
0:54:44	評価項目で出てきたものだと並べて今設定してるんですけど、これ審査会合でもお話しいただいたように、

0:54:51	評価の前提になる設計が出てくるものってのはどうしてもリンクが、リンクページがあって、それが出ちゃうのはいつですかみたいなものがちゃんとわかるようにしないと、
0:55:00	このタイミングを維持するかは書ききれないので、そういうのも力をはからなきゃいけないというふうに資料としてはこの、それももうちょっとちゃんとグレードを上げていかないと、
0:55:11	説明のタイミングが決まらんよねということで、そのタイミングも、例えば努力、
0:55:19	風量設定みたいなもんで今回グローブボックスD閉じ込めの設計をしました。
0:55:23	ウダ野瀬ですね負圧という観点でもう説明グループさんに出てくるグローブボックスと同等の閉じ込め機能を有する設備みたいのが出てくるんですけど、その構造設計を説明しなくても同じようなリーク率でやることはもう答えはわかっています、
0:55:37	だから体積の問題だけを設定するのであれば、グループ3まで待ちます家庭もグループ1でできますよねみたいな議論になるし、
0:55:45	やっぱ例えば都道の貯蔵するものの、
0:55:49	富化度とかも含めた条件ですねああいうのは貯蔵の中でグループ3で説明するのであれば、そういうのが決まらないと全体の評価の
0:55:57	インプットが決まらないみたいなものは、じゃあこれがそのタイミングでありますかとかっていうのを、あと何の情報がインプットとしてどの説明グループの項目で出てくるんだみたいなものをちゃんとここに表して、
0:56:09	じゃあこれがジョイントされて、どこの説明グループでこれをやるんですかみたいなことは、この表の中でわかるようにしていきたいというのが今、思ってるところでした。
0:56:18	はい。
0:56:20	ていうのを、作業を今進めているところです。
0:56:26	あとは、
0:56:30	これって、
0:56:35	進めていくかというのを、
0:56:40	35 ページか。
0:56:45	ん。
0:56:46	これそれぞれの定義の仕方を、説明書、
0:56:51	濃淡今回出てくる説明書を関係する説明書の3位で整理をしようと思ってますけど、
0:56:57	どの仕様表の項目がリンクするかとかあとは、どの説明書がリンクするのか。

0:57:02	その説明書が、先ほどあったように原則同一なんだみたいな話も含めてこの中で整理をしていこうというのが今、考えているところでございます。はい。
0:57:14	それを全体を整理していった考え方とあとは、今回の説明グループ1の資料の中に資料4の整理方針と、
0:57:24	資料4の形をですね、
0:57:26	パッケージ化していくのが順次やっていってお出ししたいと。
0:57:31	はい。
0:57:33	これも
0:57:35	こないだ鷲尾イシイ大井がある程度できてないと話はしないので、普通はまだ一応大体ベースができていますので一応これができるかなと思ってますので、その作業を進めていきたいと思います。はい。
0:57:48	はい。以上です。
0:57:51	コサクですちょっと、今し最後資料の話があったので、それとの繋がりを確認しておきたいんですけど。
0:57:59	言われるように評価の前提となる設計構造が説明されてないといけな いよねということで、
0:58:09	素行がどこまで進んだタイミングでの評価の説明なのかというのがポイントだと。
0:58:16	ということなんですけど、後ろについてる表をブラッシュアップすると言わ れたんですけど、そもそも資料2の中で、
0:58:27	評価の前提となる。
0:58:29	ものを、システム設計なのか、構造設計なのか。
0:58:34	配置設計も一緒なのか。
0:58:35	関連するものはピックアップを漏れなくしますという作業をしたと。
0:58:41	ということであってしかもそれ紐付けをしますと、いうことをされたので、
0:58:49	それは相互に読み込むってことだから、ここで評価を入れたら上に 乗っかる。
0:58:55	構造設計等っていうのはすぐわかっ。
0:58:58	るってことでいいですよ。はい。
0:59:00	はい。コサクでわかりましたそうするとフォーマットとしてちゃんとそれ入 れましょうねということだけですね。
0:59:06	はい。そこはそんなに時間がかからないということだと思うので、この作 業としてはいいことなんですけど、資料2のブラッシュアップとしては時間か かるんですけど、
0:59:16	それはやっていただいて、先ほど吉原さん言われたように、資料3の方 が終わってからやると。

0:59:26	いうものは、それでいいんですけど、
0:59:31	一部が出ていてもう主要なものは出たからいいでしょうというようなものについては、後段で説明するものはある程度枠取りをすると。
0:59:42	ということになるので、先ほどグローボックス。
0:59:47	と同等のというところで話がありましたけど、それも同等というところで、
0:59:53	大枠枠がはまっていると。
0:59:55	ということでプラス、要領なり何なりというのが
1:00:00	システム設計なり何なりで、一応枠として説明ができてると。
1:00:05	ということかなと思うんでそのの整理を
1:00:10	そのグループ偽名の時にですね、
1:00:14	話をさせていただいて、
1:00:18	いえ、
1:00:19	そういうものは、その枠の中に入ってるかっていうのを逆に資料 3 の方で、説明すると。
1:00:26	いう形に、明示的にしていただければと思います。
1:00:33	はい、西田でございます。はい。
1:00:35	わかりました。さっき言ったようにシステム設計とかで風量のアノ線、
1:00:42	徹底をすとか、構造設計で排風機の余裕を決めているとかという、そういうベースの情報として、業績とか何と何と関係するのは全部入れて説明するので、それが
1:00:52	資料 23 でリンケージが取れて、ここでこう書いてますということも含めて説明ができるような整理。
1:01:02	質問、
1:01:04	今の関連で、
1:01:07	量の事業とかは、説明グループ 1 で説明しますけれども、評価は 3 ハヤシダという。
1:01:14	それをですね、担当整理をしてご説明すんで、先ほど言ったみたいに、同等の水準にグルーピングできてるんであれば、要領野瀬評価も含めてグループ 1 にできるんじゃないかっていうのも考えてはいるので、
1:01:26	そういうところを整理をして、これはここへ理由で説明グループ 1 で合わせてできると思います。ここはこういう条件がそろわないと、確かに説明が辛いので、
1:01:36	資料グループ、それが出てくるグループに合わせてやりますとかっていうのを整理していこうかと。
1:01:41	はい。それをこの、今、この表がどんどん膨らんでいくんでこの形でいいかどうかはわかりませんが、
1:01:47	この中で見えるようにしていきたいってのが、

1:01:50	はい。
1:01:54	打ち返し。
1:01:58	回収は、
1:02:01	はい。
1:02:02	その配布の不良、
1:02:06	まあ、今後、検討した上で、
1:02:08	決まってきたら、
1:02:10	はい。はい。はい。教えていただいて、
1:02:13	配布要員とかそういうものも説明するんであれば、どういう形で説明するのかみたいのを整理をして、今、溶液受け皿についてますけどこれ以外にも必要なものはつけ、同じように展開していこう。
1:02:27	わかります。
1:02:32	規制庁の新居ですけど今の、はい、空気の換気風量に関して、
1:02:37	申請自体がそもそも違うっていうものがあるのかなと思ってて、例えば
1:02:44	グローブボックス、次のシートでふやすってなったときに、その容量を加味して、
1:02:50	運用するっていうところもあるかなと思ってんですけどもそことのリンクづけていうのはどのように図る
1:02:57	はい、西田でございます。これも、
1:03:01	もともとそういうリンクづけてやって、今回の第2回の申請がこの範囲でいいんです。融雪
1:03:10	するっていうことに、
1:03:11	私も確か審査会合でその前、3月、安いかどうかちょっとあったので、そのリンケージが今は、
1:03:18	何か、
1:03:20	添付資料に添付資料にΦ深井に跨るものが、ダーというものが全部買いますよと、個別の要領としての体積みたいのを補足個別補足に展開して、
1:03:30	こんなもの容積があって、これは第2回ですこれは第3回みたいな、ただ系統が全部繋がっているの今回まとめて全部体積として上げた上で、数量設定しますみたいな流れに今している。
1:03:42	はい。
1:03:45	そこまで、そこを見ていくと、はい。
1:03:48	体系的にはわかるっていう感じになります。
1:03:55	ちょっと本筋じゃないですけど、

1:03:58	11 ページ目で説明項目の抽出に明示されちゃってますように計算して っていうところがあって、ただ前回の設計項目のヒアリング時なんか、凍 結のところでは評価とか拾ってる。はい。はい。
1:04:13	ああいうのって拾うのと拾わないっていう、差分のところは上手く整理で きているというか、ないと。
1:04:21	結構
1:04:22	大きな作業が発生するのではないかなっていう懸念があって、
1:04:27	自明なものは自明なんですっていうところで評価としてやってくれないっ ていうところがあるのがいいのかなあとは、お互いだと思っていると思う んですけれども。
1:04:36	つまり細かく我々も自明なものを求めることあるんですが、不合理なん で、はい。
1:04:43	そうですね。これも前回の、
1:04:47	線源は設計項目のヒアリングで、アノアノコマツカドイ、もともとボックス だったらこれ評価にしないという話をされた通りねどっかで
1:04:57	天引きの考え方をちゃんと教授とかに書いてそういうものを評価するの かみたいなのか、整理をしていければと思います。また資料 2 以外のプ ラスアルファで基本設計方針を読み解いて評価に上げるものではなく て、出てくると思う。
1:05:11	はい。その線引きがちょっと曖昧だっていうのがやっぱり、今までの観 測、はい。ありがとう。
1:05:24	私も 17 ページ。
1:05:27	はい。
1:05:31	多分、
1:05:33	その申請されてから、
1:05:36	事実に基づく政策構想を使ってる。
1:05:40	おっしゃってるんですが、どうしてジツウ何のシステムを使ってるのかっ ていうの他、
1:05:46	もう少しちゃんと展開。
1:05:50	先生にもないです。はい。
1:05:52	はい、国枝でございます。
1:05:54	いろんなところでもよく言われている。そうですね。JISって書いて終わり じゃないので、何を使ってるか。はい。ちゃんと明確にしていける。
1:06:03	はい。技師。
1:06:08	古作です。今の話があったので、
1:06:13	少し

1:06:14	資料4のイメージなり、個別補足説明資料のイメージということに繋がればということで、
1:06:23	話をしたいと思うんですけど。
1:06:25	その点だと、
1:06:33	18と同じ骨格があって、
1:06:37	そのエビデンスってということでその次から、
1:06:41	データ集がついている。
1:06:43	いう。
1:06:46	イメージを持たれてるんだと思いますので、今回は骨格ってということ。
1:06:52	なので先ほどのタジツの番号がついてないとか、
1:06:55	というようなことが、
1:06:58	あるんだと思うんですけど。
1:07:02	まずわあ、
1:07:05	実数の公差で評価しますではなくて、
1:07:09	設計製作をこのJISに基づいてやります、で黄砂をこれで管理しますと。
1:07:16	いうことがあって、その公差を、
1:07:20	評価で使うと。
1:07:22	いうのが基本。
1:07:24	なんで、その体系をちゃんと整理をしないとまた話がぐちゃぐちゃになるかな。
1:07:30	いうふうに思います。
1:07:32	で、なので基本的には交差表が全部、主要なものはついてくる。
1:07:39	分けて添付図面ですね。
1:07:41	なのでその交差表の、
1:07:44	設定がどうされたのかっていうところに、水ナンバーのゴールの部分を使ってますと。
1:07:49	いう説明を一通りしていただくということだと思います。
1:07:54	それ自体も種類があって、なので整理をよろしくお願いします。
1:07:59	そういったことを一通りやっていけばいいんだと思っていてですね。
1:08:06	そうする等、
1:08:10	前回も申し上げたんですけど、
1:08:17	2ポツ、
1:08:18	3ポツが、
1:08:21	具体的に寄り過ぎていて、
1:08:23	共通のものになってるか。
1:08:25	いう。
1:08:26	ところなんです。まだ2ポツはまだ切りいいのかもしれないんですけど、

1:08:31	3 ポツはですねもう(1)(2)分かれちゃって、
1:08:36	いて、
1:08:37	良くない。
1:08:42	かなと思う。
1:08:43	出ます。
1:08:45	そもそも構造からってい。
1:08:48	やはり、もう保有量は、と思いつつも、構造ってなんだよ。
1:08:53	どういう構造をどういうふうに考えていくんだっていうのは共通方針ですし、
1:08:57	保有量であって、容器に配管。
1:09:02	弁のどこまでの、
1:09:06	領域をカウントすることにするかという考えは共通のはずだし、
1:09:11	そのもとに工程ってのが多分あると思うんですけど。
1:09:14	そこら辺はまず共通でしっかりと述べていただくと。
1:09:18	というのが累計での説明になるんだろう。
1:09:23	ていうところが全く整理できてない。
1:09:28	ていうことかなあと思う。
1:09:31	てます。
1:09:32	それ整理されると。
1:09:36	それで
1:09:38	納得できるものは後は実機でちゃんとカウントできてんだよねっていうことで、
1:09:44	10 番、20 ページから 20 ページ以降の、単純に要領となってますけどこの要領の根拠はということで構造図なり何なりがついて、
1:09:55	先ほど言った共通の方針に則ってカウントできているかということの確認をしていく。
1:10:02	いう流れになるんだと思います。で、そうすると、この
1:10:06	列いっぱいあ、あ行がいっぱいあるので、全部つけるわけにもいかないし、
1:10:11	その評価方法、
1:10:13	算出方法のパターンによって、代表で説明いただいて、これとこれはこのパターンでやっています。これをこのパターンでやっています。
1:10:22	なぜならばっていうのは添付図面見てください。
1:10:25	ということまで書いていただくと。
1:10:27	読み解けるんじゃないかなと。
1:10:33	それで言うとその次の 21 ページは比較的分解されていてですね。
1:10:39	仕様表なり、図面なり見れば、追っていけるかなあと。

1:10:44	いうところまである程度来てるんですけど、
1:10:47	でも、
1:10:49	課題の業績とか、ここら辺はちょっと難しいですね構造図でパッと見ても寸法が全部書いてあるわけでもないし、
1:10:58	そうすると一この容積でどう求めてんのっていうのもやっぱり必要なんですよね。
1:11:04	そんなに本当のものの精緻にやってないはずですよある程度の枠、取ってますよね。
1:11:11	それ言っていたらそれの方法で確かに多めに取ってるねっていう、
1:11:17	評価方法だとわかればですね、細かく見ていく必要もない人。
1:11:22	いうことになるので、ここら辺の、
1:11:26	使う数字一つ一つですね、何をもとにしてるのかどう説明していくのかということをもとめてください。
1:11:37	はい、西田でございます。ありがとう。
1:11:49	はい、そうです。今の四つを次回対応される等、全体、こういうふうに書けばいい、こういう視点でどこまでこの場所では書いたらいいんだなって
1:12:02	代表ではこうつけばいいんだな。
1:12:04	いうことで気を食う。
1:12:08	12の資料4の中での記載と、補足説明資料という記載とっていうものの仕分けも議論ができるようになるので、よろしくお願いします。
1:12:19	オオモトに戻ってなんですけど、12ページ。
1:12:25	前お話ししたその3分類まず書いて
1:12:31	ある程度その説明パターンというのはわかりますよねと。
1:12:34	いうことで、今申し上げたやつも、この3パターンは少なくとも、作っていたですね数量だけだとちょっと、
1:12:41	多分括弧2の0になるってことですよ。溢れじゃないや。江藤。
1:12:46	良い、受けたらの。
1:12:48	なんで、
1:12:50	まずはそうなんですけど、(1)は添付書類がそもそも流れができていますので、補足説明資料が、
1:12:58	それぞれに今お話ししたような補足説明資料がついて、
1:13:02	来るはずと思っているので、内容としてはそんなに問題がないかなと思ってるんですけど。
1:13:11	一方でし、資料4という形だとすると、それを要約した。
1:13:16	ものをちょっと作って、
1:13:18	審査会合でも説明できるようにと。
1:13:21	いうことの対応かなと思ってます。

1:13:26	そうする等、添付書類も類型にしてっていう話はしているので、比較的その累計で資料4つあれば問題ないかなとは思うものですね。
1:13:38	その類型自体を、まだどうしたらいいかっていう話が出ていないので、
1:13:44	それを議論するのが、(1)のポイントかなというふうに思います。
1:13:51	ので
1:13:52	どのタイミングでその議論するのかと、いうことを整理をして、
1:13:58	ちょっと順番が、1回さかのぼってからあれですけど(2)は、溶液現在、漏えい器受け皿で、一旦その骨格示したものの、
1:14:10	他の
1:14:11	この項目に入る。
1:14:14	ものが同じで大丈夫か、追加で何か配慮しなきゃいけないことはないかっていうのは少しサーベイをしていただきたい。
1:14:22	一方で(3)は設定根拠説明書なので、
1:14:31	今、括弧2なりで話をした。
1:14:34	条件なり何なりの説明の部分を使えば、
1:14:40	いいような話が多くてですね、
1:14:44	端的にまとめていただければ、要領はこういうパターンでやってます、何々はこういうパターンでやってますっていう、パラメータごとの感じでつくれば、
1:14:55	ここで一つ一つのパラメータでやらなくてもこれとこれの場、これとこれとこれとこれのパラメータは、大体同じようにこういうふうに評価してます。
1:15:03	ということであればパターンは決まると思うんで、その辺りを整理をしていてください。
1:15:12	ということでやれば、一応どういう方針で説明するかっていう絵は、示していただけるかなというふうに、
1:15:22	で、12月会合ということですから、どう進めるのか。
1:15:27	なんですけど、今、書いてあったんですよ。
1:15:37	つまり、
1:15:39	うん。
1:15:40	ワンクッション、今の、
1:15:48	はい。
1:15:50	5号そっちか。
1:15:56	うん。はい。
1:16:08	そうですね。はい。それで今58の前。
1:16:11	うん。考えない。
1:16:16	コサクです。来週、2、

1:16:22	大枠、何らか話をして、そこがまだ生煮えでも、それをブラッシュアップするっていう作業等、舞台にしたものを、
1:16:32	ブラッシュアップするという作業に変更して、
1:16:37	はい。少し来週、
1:16:50	コサクです。あと1点だけ、くだらない話ですけど、
1:16:54	その12ページの(2)で、風量はいろんなシステムそれぞれのパラメータが入ってくるということで、カッコ2の、
1:17:05	代表としても、はい。意味があるかなど。除熱も発熱の表。
1:17:12	積み上げというようなこともあったり、いろいろとそのデータ整理が必要なので、そうですねと思っています。
1:17:19	一方で、一番最後のこの定格荷重の評価ってこれはなんなんですかね、括弧3でもいいような気がするような話なんですけど、これですね。
1:17:30	何か、
1:17:36	日本でもないし、
1:17:39	設定根拠に入っていないんです。
1:17:42	(3)番には該当しないから今括弧に入れて、
1:17:46	はい、仕様表と設計環境が、
1:17:49	イメージだと、うん。
1:17:52	コサクです。
1:17:57	うん。
1:17:58	そうずっと、
1:17:59	それが類似。
1:18:01	なんか、
1:18:03	そういうのも含めて説明しますぐらいの位置付けであって、うん、だからここで代表設置で上げるようなものではない気もしますが、説明の仕方を加古さんになっていただければよくて、
1:18:15	説明の枠っていうことその他もろもろどういうふうにやっていくかっていうのを、
1:18:20	をいただいたらいいんですか。わかりました。はい。
1:18:28	補足です。で、資料4のイメージっていう、
1:18:31	ことだったり、大枠の方針は整理されるということですけど、あれ、説明のグループ。
1:18:40	なり時期っていうのも、一通り、はい。
1:18:44	それでもしないと、体系的にっていうイメージが掴めないのではね。
1:18:50	はい。補足わかりました。
1:18:52	で、そうすると、(1)の耐震率っていう、

1:18:57	そういうのがわかりになってくるので、当初はペンディングかもしれませんが、
1:19:05	少なくとも1月、2月、
1:19:08	ニワアノ地盤の方の話が、
1:19:11	整理されてくるってことなので、もうそこで見通しを言う必要があるんだろうなど。
1:19:16	いうふうに思いますので検討
1:19:33	としては、大体やってます。
1:19:41	言えば、じゃあ、
1:19:46	何にせよ、
1:19:47	はい。先ほどのように
1:19:50	決め方とスケジュール感。
1:19:52	いただきます。
1:19:53	はい。
1:19:57	議会から、すでに、
1:20:01	いただいて、6ページが一応全体の進め方を変えて、
1:20:08	それぞれ、この上下関係としてにつき申告全然合っていないので、全体の進め方になるように、
1:20:15	今、
1:20:16	これ一番左側のラインの指摘項目の整理ということよりも、大枠、基本設計方針を見ながら説明する項目が14年。
1:20:28	最後に当間の設計項目の定義、
1:20:31	未計上と見ながら説明すべき項目を初め、
1:20:35	あと36条の2要求事項の整理からやっていくと。
1:20:38	いうことでそれぞれ仕分けをして、走らせてますがそれぞれが、
1:20:42	どの資料にどうリンクしていったって、共通順位としてどうブラッシュアップしていくのかっていうのは全体の見直しをした上で、
1:20:50	全体像を示していければと思います。
1:20:53	今作業してる中で、一つは、
1:20:59	10ページにある呉、Bの話ですね、これ前回検定機、それぞれの資料の研究について説明をさせていただきましたものに、基本設計方針等のリース設計、
1:21:12	示すべき項目を整理していくという対応。
1:21:15	行きたいと思う。
1:21:18	これはこれでやるということで今作業を進めていると。それが1名フローとちょっと違いますけど真ん中の地域ですね、それになる。
1:21:31	の方は、常識。

1:21:34	19 ページからが、
1:21:37	ありますけれども、そこは
1:21:41	前回説明させていただいたSAの要求事項の整理で、0.1 がついた見込み。
1:21:48	ということと、
1:21:50	一つは今回、ページ、20 ページのような形でやろうと思ったとき、
1:21:57	20 ページ前回もちょっとどういうふうにするつもりなんですかっていうことがあって、
1:22:02	イメージしてるのは一つは、
1:22:07	前回のSAの要求事項の整理を行った、丸が打っていたり※1、※が書いてあるところに対して、特に丸井、丸野室は当然DBで同じように展開をしますよというひもづけをするので、
1:22:20	竜巻、火山、その他とか書いてますがこれの、
1:22:24	0 って書いてますけど、一対一にならないので、何、どこの竜巻の条文の基本設計書何番から何番のこれに対応しますみたいなリンクづけをそれぞれしていくということと、
1:22:36	あとは一番右側に、じゃあ、DBとひもづけしながらやる設計項目って誰がいるんですか、説明すべき項目が、誰がいるんですかって、性として特に考えなきゃいけない条件みたいな問題がありますかみたいでもそれぞれ、
1:22:49	左側にピックアップしながらその説明グループとの関係を明示していくということと、整理できていきたいなというふうに思ってます。
1:22:58	こうなったときに、資料をやりながら、最初から考えておけるという話なんですけど、※1※2 しかなかったんですけど、
1:23:06	※3 というのを新たに付けないとちょっと定義が難しいなと思ってもらって36 条で、展開をしたいと。
1:23:13	思うものが、今の番号付けだとうまくピックが張れないので、
1:23:18	前回ご説明したSAのやつも、36 条で説明し、
1:23:25	していかないといけないものって誰っていうのを紐づけるために、※1※2 だけじゃなくて※3 というのも、新たに、
1:23:33	付した上で、整理をしていければなというふうに思っています。
1:23:38	実際この位置は、許容限界というか、判定基準みたいなものに、条件が36 度所長としての条件があるもの。
1:23:49	※2 は、設計の条件がSAとして、新たに追加しなきゃいけない。
1:23:55	全周破断とか火山の濃度が、設計で抜け声とか、そういったものが※2。

1:24:01	※3 がアクセスルートとかSAとして考えなきゃいけないような設計があれば※3 として整理ができるということで今やっているところで、
1:24:11	はい。
1:24:12	それがSAの話で最終金は 20 ページのような形で物を図りながら、さらにこの後SAとしてやらなきゃいけないことがあるんですけど、設計項目の洗い出しという意味ではこのページで、
1:24:24	一旦ある程度大枠、
1:24:26	はい。
1:24:28	ということ。
1:24:29	21 ページからが、これ前回、一番フローリー左側の欄、
1:24:36	徹底今後の請求は基本的方針の章立てない中身を見ながら、ある程度あたりを進めていきたい。
1:24:43	所。
1:24:46	これが今、25 ページからは地上 36 条以外と聞いてるもの、これが先ほど、
1:24:53	藤山さんからご指摘あった、
1:24:57	ついてるものが、4、50 ページの
1:25:01	スケジュール、12 月 1 日予定と書いてるものが幾つかありまして、この人が今入ってない。
1:25:08	入ってないのは、耐震の条文とあとは、
1:25:12	外傷とかで別で今は整理している、真ん中のフローに乗ってる人たち。
1:25:16	どう方かな。
1:25:18	あとはちょっと私が実際の設計部隊と話したいと思って、今保留にしたやつですね。
1:25:26	計装監視設備とか、その辺が一番、12 月 1 日予定になってます。
1:25:32	はい。それ以外の条文は、今、25 ページ以降に、基本設計方針を見ながら、
1:25:39	高圧、こういうところで、設計項目を把握提携すべき、説明セキ項目を把握できればなど。
1:25:47	ということで整理をした次第で。
1:25:51	このやりとりフクマ駒井昆さん。
1:25:54	幹事会でできる予定みたいなやりとりをしてみましたけど、
1:25:58	そんなに時間もかかる。
1:26:01	だから、
1:26:02	特に
1:26:04	これも大分手を抜いてやっていた時、SAの個別条文のやつを

1:26:08	一条が入って説明すべき項目があったやつは基本設計をしながら一応設備ごとにどんな設計があるかは、
1:26:16	イシタつもりなので、そういうこと。
1:26:21	2 事業者、
1:26:26	抑制と、
1:26:31	何がそれ、
1:26:33	最初の 36 条は結構細かく、
1:26:40	まあ、
1:26:41	もう少し中身もっと見ながらブラッシュアップします。
1:26:46	パーク。
1:26:50	ていうかなとは思う。
1:26:52	ここでは要求事項とか設備に変更がないので自分と請求的に例えば 27 ページなんかは、
1:26:59	徐々に閉じ込め、
1:27:01	大枠の方針のところはあまり、今回変更がないので対象にしてませんけども、新規設備があったり、強要が追加をされたりということも含めて、
1:27:11	何を対象にしますか、御説明グループでやりますかっていうと抜き出しは、
1:27:16	しているところでした。はい。
1:27:19	全体の作業に進めていきたいというのが原因。
1:27:24	スケジュール感は、先ほど、
1:27:27	冒頭荒井さんからおっしゃっていただいて、かなりきついではあるんですけど、
1:27:32	厳密前倒しで作業をしながら、
1:27:53	はい。
1:28:04	実際の作業を進めて、アウトプットを出していただくため、
1:28:10	方針で止まっちゃって、
1:28:13	したいと。
1:28:13	はい。
1:28:31	八条。
1:28:33	コイケ 0。
1:28:36	いって、別々で結構、
1:28:39	1 週間、
1:28:41	1 週間、各情報、
1:28:44	1 週間、はい。
1:28:46	はい。

1:28:48	DBの部分と、SAの条文等で何か抜き出し方。
1:28:53	違うような気がして、例えば
1:28:56	とかだったら、
1:29:00	章立ての、
1:29:03	だけど、
1:29:08	課長。
1:29:13	その分はこれ、
1:29:17	なんかおっきなもの書いてる気がして、
1:29:20	主犯的には、
1:29:24	考え方、
1:29:26	はい。実際これ、
1:29:30	全部1人でやって、
1:29:32	私、1週間というのも、多分非常に悩んだのは、基本設計方針の書き方が、
1:29:41	章立てが1個だけあって、中に括弧番号も何もつけずに、ダーツと書いてあるし、業績方針と、
1:29:49	章立てをしながら細かくそのそれぞれの要求事項を分解して書いてる。うん。
1:29:54	基本設計方針と、
1:29:55	基本設計書の書き方が大分ばかりが変わっていくつかいるので、
1:30:00	それごとに中身を見て、そういうISAだったら、結局、35ページとかネット計装不正助成装置みたいな所だけのナカ2、
1:30:12	BとAの話を両方書きながら、
1:30:15	ただ、Dは変更はないです、SAのところ追加で要求になってますっていうのを中身を見ながら一応ブレイクをして、ただそれも結局は大枠の方針を書きつつ、この中で(1)多様性、(2)、
1:30:28	悪影響防止とかって書いてるっていう枠は同じなので、
1:30:32	その大枠のところ語ってる設計が何かかわかれば、
1:30:36	説明すべき質項目としては、大枠をとらえているのかなと。
1:30:40	もうこれ以上ブレイクするっていう点もあったんですけどそこまでは特に今やってないです。
1:30:50	何とか
1:30:51	はい。
1:30:54	全部。
1:30:56	巢守。
1:30:57	ナガエって何か区域方針とか、環境条件は工学共通の説明は36条。

1:31:04	それをどこまでこっちでやるのかとか、あと 30 ページを捲ってくる、コスト容量は確実。
1:31:12	なんか、
1:31:14	内訳という。
1:31:15	これだと見えないとわかります。
1:31:19	はい。そのイメージがわかるように、
1:31:23	おっしゃっていただいているように 36 条で共通と方針を語りながらとはいえ、設備をコスト見たときには、多分ある程度類型化ができると思いつながらも、
1:31:34	悪影響防止とか、操作性の話で、この設備を見ながら説明しないといけないよねみたいな項目があるとは思うんですよね。
1:31:43	説明としては、そういうのも、どう、どうするかが、この中で設計すべき説明すべき項目として、
1:31:50	挙げられていくっていうのを、ちょっと頑張りますで出したいと思います。
1:31:56	ノジマで、大枠、設計の話って、グループ 3 になるから。ただ、その中で、はい。これはこっちでこっちまだ余裕があると思うんですけど、例えば勤怠とか制御室の場合、5、5 になっちゃったらいんじゃないですか。はい。
1:32:10	なんかそういうときね。はい。を考えるとちゃんと内訳がわかるような形に整理した方がいいのかなと思ってます。
1:32:20	はい。
1:32:21	はい。
1:32:24	おっしゃった。
1:32:27	わかりました。
1:32:32	後は例えば、40 ページの 30 の 54 万 3000 ドイタ緊対を設置しなさいって要求的なので、50 条委員会に出して、
1:32:42	賃貸の居住性みたいなものとあと各設備をその達成するために設備の設計がこの基本設計、
1:32:49	とっていただいた例えば、外傷なんかの、
1:32:53	SA設備として防護対象にエントリーされるものっていうのは、
1:32:57	外傷として対象物のエントリーされて説明していくからおっしゃっていただいて、ここで言ってる説明グループで 5 でやろうとしてる設計がベースになって
1:33:07	対象の説明をしようとする、それが先出されてないと説明できないよねっていうのをおっしゃっていただいている通り、
1:33:13	ちょっとその辺の切り分けできればいいんですけど、利用しながらこの説明すべき項目をどう、

1:33:19	徹底していったらいいのかっていうのを考えたいと。
1:33:26	コサクです。
1:33:28	まさに
1:33:29	そう。
1:33:30	その目主幹を合わせて、
1:33:33	いかないと、グループにした時の隅括弧での記載がDBSAで上がって いかないよと。
1:33:41	ということ等、
1:33:43	何だと思うんですね。
1:33:48	その辺関西系の方からの、
1:33:53	明示と。
1:34:00	通し 20 ページ。
1:34:04	見ると、
1:34:09	SAとしては、
1:34:11	予備費リーダーと、
1:34:14	36 条、91 番という
1:34:16	方針に対して妥当、SAのほうの項目は、予備機による復旧により機能 を損なわない設計と。
1:34:25	いうことにしますと言いながら、
1:34:29	飛ばして行って、DBに受けてもらおうというときには、屋内に配置する 設計。
1:34:35	に飛ばします。
1:34:37	になっていて、合っていないんですよ。
1:34:40	でこうだとすると、
1:34:43	表、グループの表の中に屋内に配置する設計って書きちゃうと、この中 で、
1:34:48	SA方のその予備品の復旧云々っていうのを説明できるのか。
1:34:55	漏れがなくできるのかっていうのがわからない。
1:34:58	ということなんですけど、そこはどう考えて、
1:35:02	はい。読みでしょ、ございます
1:35:03	ですねまずは、この上の将来、
1:35:08	ていうかここに何を書くかっていうところの整理をちゃんとまだしないとい けないかなと思って、
1:35:13	包含されるって実際包含されてないので、ここを書く。私のイメージだ と、赤の赤字で書いてあるものと黒字のものと両方書かってイメージだっ たんですね説明する。

1:35:27	そういうのがわかるように多分、上の書いてることもつかないといけないかなと。だから、そういうイメージが伝わるようにしないとイケない。多分最終形多分、
1:35:36	今このままいくと、おっしゃっていただいている黒字だけが残っていったって赤字がいなくなるパターンになるので、うん、そうじゃないよってところのやり方をしたいなど。
1:35:45	はい。
1:35:48	等コサク別、平気だとすると、はい。
1:35:55	土肥どうしようかな。
1:35:57	提起している、併記しているようすけど。
1:36:00	何でそこに入れたのかっていう理由。
1:36:04	が、読み解けるのかということで、この表であれば、はい、そうそう、ここの中に入るんだなっていうのはわかるんですけど。
1:36:15	グループの表になっちゃうとそれがわかんないので、※書きなり何なり、関連付けるのか。
1:36:21	少し工夫をしていただいた方がいいかなというふう思う。
1:36:26	はい。乳井ニシダでございますはい。最後の形ん時にそうですね。なんでこれが書かれているのかってこの赤字は何とついなのかっていうのも含めてわかるように整理。
1:36:37	はい。
1:36:38	はい。
1:36:39	そうですねよろしくお願いします。で、ページで言ったのが、
1:36:43	ぱっと見やすかったから話したんですけど、
1:36:46	内容がとても良くないんですね。
1:36:51	予備品による復旧とか、
1:36:55	修理とかっての、
1:36:58	措置で対応するものは、それを、それでいい理由というのを、説明をまずしなきゃいけないで、
1:37:08	その理由に即した設計になっているか、対応ができるかという説明が必要。
1:37:16	ということからすると、
1:37:23	プラスアルファ、何らか説明が必要なので、そこがだからSAのこの説明すべき項目っていうのは明示しますというポイントで、
1:37:34	ただ、その体制、
1:37:36	対応内容の設備設計そのものについては、DBの他のものと同じだから、
1:37:43	そちらを活用しました。

1:37:47	いうことかなと思いますので、
1:37:54	この辺りは
1:37:56	資料 3 なり、
1:37:58	のイメージを具体的に、
1:38:00	早めに説明していただいた方がいいか。
1:38:05	はい。
1:38:07	はい。
1:38:15	は説明しないと。
1:38:17	整理をして、
1:38:19	資料 3 のイメージですね、早めに
1:38:25	はい。
1:38:26	です。
1:38:34	その前のページ、
1:38:36	19 ページ、※3 っていう話をしたんですけど、
1:38:42	されたんですけど、ちょっと意味がわからなくて、
1:38:46	ここで書いてあるところだ等、
1:38:49	へえ。
1:38:53	固有の説明すべきってんですけど、今の話。
1:38:58	ですよ。
1:39:00	ていうのは固有っていうものでもないんじゃないのって前回言ったと思うんですけど。
1:39:07	36 条で説明っていうと、これまで 36 条のやつも全部、その井川と言ってたのと少し変わりますけど、
1:39:15	はい。
1:39:17	ここはすみません私ももう一度頭整理します。単独でやるべきだと言ってる作業してもらってそれで思って井清コウしてくれてるんですけど、
1:39:30	今までやってたのは、どこかに必ず 1 回紐づくよねって言って整理してきたのに、これだけ逆行して何か意味があるのかってところも含めて、はい。
1:39:40	はい。
1:39:41	よろしくお願いします。
1:39:43	それで言うとまた 20 ページの先ほどの場所に行くそうですね。
1:39:49	復旧を期待するっていうのは、確かに
1:39:54	CDA 設備ではない。
1:39:56	しそう。
1:39:57	ということなので SA というにはなるんですけど、一方で非安重であれば、同じなんですよ。

1:40:06	なので、SA特有ではない。
1:40:11	安重とは違うというだけでは、非安重とは一緒。
1:40:17	ということだから、持ってきましたよねであって、その上で、先ほど言ったような持ってくるにしても、
1:40:24	説明すべきことはあるよっていうプラスアルファがありますよっていうことだと思うんです。
1:40:29	で、
1:40:30	プラスアルファを説明した上でここである竜巻の関係では、竜巻では死ぬけども、こういう対策は生きているのでやりますよ。
1:40:40	先ほどの条件は満足しますよと。
1:40:44	というようなことの説明ということで説明のパーツは使っていくつつ、使い方がちょっと、
1:40:50	いうことを形づくって欲しいっていうことで、
1:40:54	そういうのを※3と表現したりしてもいいんですけど、振るということには、
1:41:02	報告は間違いない。そのために表現も誤解のないように、
1:41:06	してください。
1:41:15	古作です。あと先ほど藤原が言ったメッシュ間なんですけど、私もそう思っていて、
1:41:24	等ます。
1:41:26	谷井アノで打ち上げてくれた、
1:41:29	津波、はい。
1:41:32	がですね、文章で書かれてるから文章抜き出すとこういうふうな項目になったっていうことではありますけども、
1:41:40	これぐらい書いてあるから、説明する内容の仕分けがわかって、
1:41:46	この部分はここで説明しますこの部分をそっちで説明しますってわかるようになるんですよ。
1:41:53	次のページの 27 ページ行く等、閉じ込めこれなど表題チェックになってるんです。なので、
1:42:04	413 の漏えい拡大防止って言われると、漏えい拡大防止っていろんな策があって、
1:42:11	説明項目ちゃんと漏れなくできるのかって不安にはなるんですけど。
1:42:15	幸いこれ説明グループ名で藤委員、宗一色なので、そこで漏れなく説明してくれればいいということからすると、グループの説明の中で分解しなくてもいいと。
1:42:27	いうことで需要はできると、ということなんですね。

1:42:33	その関係から言うと、このページは 416 がポイントで、※1※2 って書いてあるんですけどこれじゃ使い分け綺麗に書けてない。
1:42:45	ですよ。
1:42:47	ちょっと表題が崩壊熱除去と言ってる中に何で悪影響防止で出てくんだよと。
1:42:52	いう感じになるし、
1:42:57	その中で
1:43:00	グループ一位のところでの説明だとすると、
1:43:04	7を除くっていうことを説明しないといけなくて、
1:43:11	或いは7の方2への、
1:43:14	の※2の時に※1との関係っていうことがあって、
1:43:18	この言葉だけだとどうするつもりなのかわかんないんですけど、本当できますかね、蒲池です。
1:43:24	ここになくてよくて、竜巻で出てくる。
1:43:28	はず。
1:43:29	ネットをつけて冷却機能に影響がないので、あちら側で説明する項目を、
1:43:35	うんうん設計をイシイから引っ張り出すかっていうそれ多分乱暴な話なので、ちょっと棲み分けをした方がいいのかもしれないね。これには純粹に今回崩壊熱除去の要求が変わってないんですけど、
1:43:46	全部移設した設備がいるんで、それに対しての崩壊熱除去としての要求事項を満足していることを、グループ等で説明しますみたいなことを、
1:43:57	一般的に説明すべき項目のところに書いてあげれば、
1:44:00	いいのかもしれない。
1:44:06	コサクです。何を意識してるのかわかりました。ネットというよりは清流版そうですね。
1:44:16	それ言うと、
1:44:19	どっちなんですかねえ。
1:44:23	だってあれネットじゃないんでしょうね。
1:44:26	そう。
1:44:27	グレー附属というかベッドつけてるものっていう意識なんでしょう。
1:44:39	説明塗装でいうと除熱の設計として、空気の流、
1:44:46	流路をこういうふう構成し、しますと。
1:44:49	いう設計方針なんだというのは理解をしましただから悪影響防止ではなくて、
1:44:54	そもそも冷却の設計だと。
1:44:57	いうことじゃないですかね。

1:44:59	それで言うと、グローブボックス内の
1:45:05	当吸気排気的位置なり、どう流すのかっての、グローブボックス内の配管。
1:45:12	ダクトの設置方針。
1:45:15	言ったことも通じるんだと思うので、その扱いを整理していただいたらいい。
1:45:27	で、そこら辺がわかるような表現、いうことをお願いします。
1:45:33	それで、
1:45:38	29 ページ。
1:45:40	2 について、
1:45:42	これもちょっと粹取りし過ぎかっていう感じが。
1:45:48	あるんですけど。
1:45:50	あるんですけど、何となくわからなくはないっていう。
1:45:55	微妙。
1:45:58	はい。
1:46:04	ここは、DPとしてだけであればわからなくはないので、
1:46:09	SAが入ったときに、どう、
1:46:14	入り込めるかということで、先ほど話からするとSAの方針は併記されるということからすれば、関連するところに併記してもらえば
1:46:26	何とかなるかなという気はします。
1:46:28	けど、
1:46:30	うん。また
1:46:31	金曜日の
1:46:33	時に、少し皆、金曜日の提出の資料を見ながら的な話をできればいいです。
1:46:42	30 ページの 1、薬品は、それに応じてという。
1:46:57	溢水、
1:47:01	しまったから。うん。はい。まだちょっと、
1:47:05	そろそろ行きますけど、31 ページは、これグループ 1 とグループ 4 ってわかるって何でしょう。
1:47:18	あれか。
1:47:21	電気設備、
1:47:24	と。
1:47:24	セットで説明し、
1:47:28	私から外傷、どうぞ。
1:47:34	何だっけ。
1:47:36	六ヶ所は許認可シミズですけども、

1:47:38	建物避難通路等合わせて説明する内容証明は、グループ1でまず整理するという考えで、
1:47:47	いました。あとは、作業用照明制御室とかの作業用照明グループ書いたんですがグループ5なんですが、の説明と、
1:47:57	合わせてグループ5ですみません、説明したいと考えておりました。
1:48:05	ごめんなさい。グループ5って何でしたっけ。
1:48:11	郵政の補充性ちょっとなんぼだ。わからなかった。はい。
1:48:19	ペアだから、グループ1っていうことですよ。うん。グループ1の理由は何となくわかるんですけど。
1:48:29	なんす。
1:48:32	グループ1でいいんじゃないって感じがしますけど。
1:48:35	ちょっと、設計として説明する内容と、グループの設定をもう一度は、
1:48:41	はい。
1:48:46	と、
1:48:48	32ページD案いうがあって、
1:48:56	搬入、
1:49:04	と、
1:49:06	中身にはDBデビジョンSAの項目と関連するものがあるんだろうなと。
1:49:18	思うんですけど、うまく対応づけてるのかっていうところが心配で。
1:49:27	この
1:49:28	変更がないため対象としないとか、
1:49:31	だったり、
1:49:33	してしまうと、SA単独で説明でな。
1:49:37	ちゃって、
1:49:38	でもSA単独では説明できなくてですね、SAっていうのは、DBとの
1:49:44	共倒れをしないということでDBの設計説明してもらわない限りはSAの説明できないんですよ。
1:49:51	ていうところがこの配慮が足りないかなというふうに思います。
1:49:59	はい。西原。
1:50:01	そういう関係も、
1:50:03	請求します。
1:50:05	そうしたときに、説明グループ3と7に分かれているのが、
1:50:11	どういうことなのかなと思っ
1:50:14	ていてね。
1:50:16	出井さんは何かっていうと、SAなわけですよ。
1:50:20	急いで説明することなの、環境条件がっていうのがあって、
1:50:27	SA環境っていう時、事故条件、はい。

1:50:32	なのはそうかもしれないんですけど、それ以外の条件も環境条件いっぱいあるので、
1:50:38	それは、
1:50:40	グループ1なんじゃなかったっけ。
1:50:41	とかがあるわけですよ。
1:50:44	そのあたりの考えを整理してもらわないと。
1:50:50	じゃないかなって。
1:50:53	そうしたねアンリユウでなぜ3っていうのはない。
1:50:59	整理をしていてください。
1:51:04	DSPアノコラボでやらないといけないと。それで、
1:51:11	他の説明グループでやることなんですけど、
1:51:16	はい。ちょっとそれで思い出したんで戻っちゃって申し訳ないんですけど、26 ページ。
1:51:24	ここに
1:51:26	34 条っていう関係からだと思いますけど河畔井清ってあって、36 条で展開って書いてあるんですけど、36 条は、それぞれするっていう方針からすると、ここが受けるんじゃないですかね。
1:51:42	それともあれですかなんかは、配置っていう意味では、
1:51:46	津波だけの配置じゃないから、
1:51:49	他でまとめてやりたいと。
1:51:53	はい、人間ちゃう。
1:51:55	ちょっと整理します。はい。ちょっと上での基本設計方針の展開をそのまま書きちゃってるので、説明するとすると定義をちゃんとしないと駄目かなと思います。はい。
1:52:06	はい、ト部です。わかりました。いずれにしても最終的にはグループでまとめた説明なので、
1:52:13	はい。よろしく。
1:52:21	はい。
1:52:24	SA関係に入って、
1:52:27	書きますけど、
1:52:28	勤怠通信まとめたものも含めてのSEで、これは先ほど藤原が言った通りで、単純に分割はしたとはいえど、結局は
1:52:40	小分類の設備名が書いてあるだけということなので、それで説明すべきことって本当に何っていうのを、
1:52:48	考えていただかなきゃいけない。
1:52:50	ということで、
1:52:51	と言いつつ、説明しなきゃいけないのは 36 条の対応、はい。

1:52:55	と、有効性評価から落ちてくる個数容量だったり、
1:53:00	ゆうこ等に尽きるんだと思います。つけると言いながら、前提条件、こちらもあるんで、
1:53:08	そこが拾えてナイトウ、良くないんだろうなど。
1:53:12	思ってます。
1:53:15	その点では、許可の 8 号、
1:53:19	いろいろ書いてあるはずで、
1:53:22	それをしっかり拾ってますか。
1:53:24	いうことだと思いますから。
1:53:26	Sn-00 資料別紙 1 の時に、8 号の展開をしているんで、
1:53:34	その点で、説明すべき項目。
1:53:38	の意識を作っていたかと、議論できるんじゃないかなと。すいません資料見返してないですけど。
1:53:46	概念的には思うので、
1:53:49	確認をしてください。
1:53:56	で、
1:53:58	その視点さえあれば、細かなところワー粹が明確になってれば、
1:54:05	説明グループの影響としてはさほどなくて、グループさんでやることと、それ以外で、あそこでやらずに、別でやることっていうのが明確になってれば、
1:54:14	いいわけなので、その仕分けがどこなのか、それが表現できてるかということも 1 回わかる。
1:54:42	基本設計方針の章立ての項目名から説明すべき項目を、
1:54:47	出すっていうやり方が一番
1:54:49	整理はしやすいのかなとは思ったんですけど、やっぱり中にも、その小ダテの名前から入ってないこれが出てくる理由とかっていうのは、
1:54:59	先ほどの悪影響の話とか、
1:55:03	そういうところはちょっと大多数はこれでいけるけども、いけないところはちゃんと理由を書いた方がいいと思っています。それで今、表も作り方がざくざくってのは、
1:55:15	多分中間にある考え方の整理の項目が、それで結局、結局説明する報告が出るっていう
1:55:22	そういうところかなと。
1:55:25	うん。
1:55:26	そうですね。はい。
1:55:28	この最後の説明すべき項目に至る過程をちょっとちゃんと書けるように、まずはフォーマットを整理し、

1:55:36	展開していきたい。
1:55:37	はい。
1:55:43	ミツイのところも何か重点的に見た。
1:55:47	29 ページで、スロッシングに対する防護設計って書いてあるんですけど、
1:55:51	ちゃんと今後書かないとあれかなあと。
1:55:54	だけどSAとか負担グループスロッシングウタ泉ミラウ設計、
1:55:58	しまうってことなんですよ。Dだったら機能維持なんですね。
1:56:03	うん。
1:56:04	抑制防止があるんですね、そっちがスロッシングそのものに対する方向性なので、
1:56:12	そういうわけじゃなかったということなんです。そういうことです。
1:56:21	後はあれですよねすみつき括弧とそうでないところがあったりとか記載の、
1:56:25	適正だとか、また火災だとか、基本設計方針に変更なしの内容が抽出しないとか、
1:56:33	あとは要求事項はそもそも変更がないとかっていうのはないと同じなんじゃないかなと思って、はい。
1:56:39	その辺は、抽出しない理由っていうのは、サイトウちゃんと統一した方がいいのかな。
1:56:46	津波さっきのスロッシング呉は、DBではコウSAで起こってやっぱり書くことになるんですよ。
1:56:56	と多分今の適切な表現になったんで、さっきの赤字みたいのが出されると聞いた分、
1:57:04	コラボみたいな話がね。
1:57:10	良質な制御室からいけない居住性とかいっぱい、
1:57:17	はい。我々もそうだと思うんですけど、
1:57:19	はい。繋がりはヒライ。
1:57:31	項目の振り方とか、
1:57:35	学校差別、それでいうと、居住性って書いた上で、換気設備の設計、また各って、
1:57:43	何か、
1:57:44	その作業の仕方にとらわれ過ぎてるかなといつもします。
1:57:54	そうですねちょっと整理します。4.3、業績方針 34.3 のところで、大枠の居住性や何なりの設計方針を語りつつ、それを達成するために必要な、

1:58:07	個別設備の設計を 4.3. 3 とか 2 とかに来てるので、そういうところが説明しないといけないということはなるべく分かるようにしたいなっていうのは置いてあったと。うん。はい。うん。
1:58:18	そういう構成になってますっていうのも含めてどう考えてここに至ったかを、真ん中にちょっと書けるように、すいません。はい。
1:58:37	わかります。
1:58:39	蒸発乾固とかでもセル導出とかあるんですけど、それも全く読めないような、
1:58:44	うん。
1:58:52	はい。
1:58:54	井清の方は、すぐですねやりながらもうちょっとやんなきゃ。
1:58:59	基本設計方針の今の構成、8 号オオモト積みながらちょっと前提を考えますけども、
1:59:06	運転教授が今、SAに対する事故、事故のシナリオっぽい話と、それに対して対策設備にどういう機能を期待するかみたいな大枠が、
1:59:16	最初にあった上でそのあとに、皆同じように対応性 1 千種とかって今後どんどんどんどん出てくるので、
1:59:22	どこの内容をどう説明したいかっていうのをそこからどう、どう抽出したかですね、考え方と多分、先ほどあったグループが、またはカネナリたいところがちゃんとわかる。
1:59:34	はい。
1:59:41	県庁オオハシですけれども、
1:59:44	ちょっと 1 点。
1:59:46	42 ページから 10 名の臨界の話が、その事故条文があって、共通の 1.2 とかがバーで書いてあって、
1:59:57	説明すべき項目、呉とかでもバーにしてる理由とか特に書いてないんですけれども、これ今作業中とか、はい。これ自体は、構成上は 1.2 のところは、あくまでレポート以降の個別項目にするために、委員会の
2:00:15	なんていう冒頭宣言としてだけがある項目になってるので、そういう項目だったのがわかるようにちょっと記載をしていければと思います。はい。
2:00:24	はい、わかりました。
2:00:35	議長。
2:00:41	一応今日の予定で、
2:00:43	終わり。はい。
2:00:45	じゃあ、
2:00:52	振り返りでございます。衛藤。私の方ですけれども、え一つとですね、表 3 件、ちょっといただいております、

2:01:03	ちょっと順不同ですけども次回の会合での説明更新、これは 27 日か 28 日にご提出して食事ヒアリング
2:01:10	何を意味するかということでございます。
2:01:13	それからこの後ですね追加調査のデータ定義につきまして、この耐震建物 08 への反映も考慮に入れながらですねそのデータのことで一応大変建物のご定義これ⑨②③の各段階どこに相当するものをどこで定義して、
2:01:31	ヒアリングいただくのかということ整理して、スケジュールをまたご提示するというご回答としていただいております、最後ですね、7 日のPMにヒアリングを持ち込ませていただいて、これちょっと
2:01:46	別の日に、ということちょっと場合によれば、町村部と合わせた形のご定義というの、谷川ちょっと調整していただきたいと思います。以上でございます
2:01:58	設置オカベですけど、何かわざわざ次の週にする必要もなく、
2:02:04	井清数、それも含めて、
2:02:09	はい。
2:02:14	はい、宮でございます。他のパートですが、まず 1 月の審査会合の案件整理をして、次回、
2:02:23	あと 3.1 のところは、
2:02:25	先ほど 2 番目で説明した説明すべき。
2:02:29	も含めて、全体のゴール
2:02:32	との関係をちゃんと明確にして、
2:02:34	スケジュールを
2:02:36	考え直すということかと思えます。はい。そうすると 6 ページの下の図をですね、何か今の状態に即した形と、
2:02:45	かねてがわかる。
2:02:48	見直しをしていきたい。
2:02:52	こととあと資料 4 の関係、今日お話をさせていただいたものから例示について次の審査会合で説明するイメージにつなげていけるように
2:03:03	資料 4 を出すタイミング前にですね、もう一度ヒアリング資料提出とヒアリングを図る。
2:03:09	いうことでした。
2:03:12	はい。
2:03:15	青田。
2:03:16	説明項目の方は、説明すべき項目の全体の流れ、スケジュール感という話は、先ほど話と同じ。

2:03:27	後はSEで、サンポいただいて※3、これちょっともうももとの最初のスタートからすると、話が出てくるので、その考えと、
2:03:38	提示をさせていた。
2:03:40	後は、25 ページ以降についている業務は、説明すべき項目でまず担当何を説明するために伝えること。
2:03:51	と説明グループの設定との関係も含めてですね。
2:03:56	基本設計方針から、なぜこういう答えに導いたのかというところがわかるような考え方を書ける欄をつけて、
2:04:03	はい。
2:04:17	はい、じゃあ、それで、
2:04:22	ありがたい。
2:04:27	ベッショ。